6　年　道徳	レベルアップ！自分の心！	6年❷
目　標	日常生活や道徳科の授業のなかで、多様な考え方や捉え方にふれ、内省し、その思いを書くことを通して、相手を大切にしようという心情を高める。	
使用したICT機器類・教具等	大型テレビ、HDMIケーブル、ノートパソコン、ホワイトボード、心カード	
思考ツール・プログラミング	マインドマップ	

◆プログラミング的思考とのつながり

・子どもたちがマインドマップを用いることで、テーマに沿って出てきた考えを整理したり、分類したりしながら、自分たちの考えを可視化するなかで、論理的思考力を高める。

・グループで考えたことを発表する際に、マインドマップを活用しながら板書をまとめることで、意見の構造を可視化し、子どもたち自身で考えの関連を見つけていく。

◆授業の実際

1　前時の振り返りをする。

○前時でまとめたホワイトボードの画像を大型テレビで確認した後に、どんなときに悪口を言ってしまうのかという例を挙げながら、発言していった。前時でしっかり負の面を出せていたため、多くの子が手を挙げて発言する様子が見られた。

2　自分が悪口を言わなかったとき、どんな天使の心があったのだろうかを考え、話し合う。

○グループごと司会を中心に、それぞれが大切だと思う心カードを選びながら意見を言い、ホワイトボードに、まとめていった。

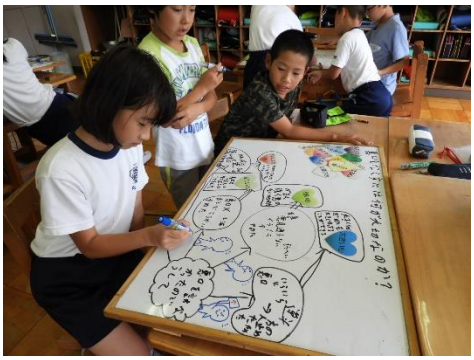
○「正しい心」など、同じカードを選んでいても理由が異なり、友達の意見を関心をもって聞く姿があった。理由を言っていく際には、似ている理由のものは線でつなぐなど、他の考えと比較、関連づけながら話し合いを進めていた。

○まとめていく際には、「ここに書くといいよ。」など、関連について考えながら意見を整理したことで、お互いの考えをわかりやすく可視化してマインドマップに表すことができた。

3　悪口を言わないために大切なことは何か考える。

○各グループで考えたことを発表し、板書にはマインドマップでまとめた。マインドマップでまとめていくなかで、これまでの道徳の授業でも出てきた「あのときも、相手を思う気持ちが大切だった。」というような発言もあり、多様な考えを関連づけながら悪口を言わないように努力したいという思いをもつことができた。

［悪口を言ってしまったときについて（前時）］



［どんな天使の心が大切かを出し合う］

◆実践を通して

・グループでマインドマップを活用しながらまとめていくことで、一人一人の意見をホワイトボード上で可視化し、それをもとに考えを整理・分類したり関連づけたりしながら関わり合い、考えを深めることができた。

・マインドマップで板書されたものを見ながら、出てきた考えやこれまでの学習とも関連させながら意見を述べることができた。